

財務諸表のなぜ？  
にお答えします！

令和2年度決算版

荒川区の財務諸表

Q & A

& “ワンポイント”用語解説

## はじめに

荒川区は、目指すべき将来像「幸福実感都市あらかわ」を掲げ、区民の皆さんが、ずっとこの街で幸せを実感していただけるよう様々な事業を計画的に行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策や災害対策等のような不測の事態への対応も必要となります。

こうした事業を行っていくためには、限られた財源を重点的かつ効果的に投入するとともに、費用対効果を見極め、徹底した事業の見直しによる行財政運営のさらなる効率化・適正化が必要です。

このため、区では、これまで以上に健全で持続可能な財政運営が行えるよう、平成28年度から本格的な複式簿記を導入し、新公会計制度による財務諸表を作成しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大局面が続く中において、区民の皆様への命と安全・安心を守ることを最優先に、必要な対策について迅速かつ着実に実行しました。コロナ禍における厳しい財政状況の中にあっても、特別定額給付金や子育て世帯に対する臨時特別給付金などの各種給付事業、区内医療機関や介護・福祉施設、中小企業者への支援、感染防止対策の強化を行うなど、様々な新型コロナウイルス感染症対策を実施し、区として最大限取り組んできたところです。

本書は、このような取組後の区の資産状況等をQ & A形式でまとめています。包括年次財務報告書を読むにあたって、『あらかわ・あらかみいと一緒にみる荒川区の財務諸表』とあわせて、ぜひこのパンフレットを参考にしてください。

# 目次

Q 財務諸表は何のために作るの？ . . . . . 1頁

Q 区の財務状況はどのような状況ですか？ . . . . . 2頁

Q 財務諸表を分析することでどんな将来への備えができるの？ . . . . . 7頁

Q 財務諸表を見て財務状況が一目でわかるポイントってあるの？ . . . . . 9頁

※ 各問には、関連する包括年次財務報告書（財務報告書）の参照頁を記載しています。

**用語解説**

のマークは『“ワンポイント”用語解説』の対象語句になります。

本書の計数については、各項目とも表示単位未満を四捨五入しているため、表中の内訳と合計が一致しない場合があります。



## 財務諸表は何のために作るの？

財務報告書  
2・3頁参照

令和2年度一般会計の決算額は歳入1,248億円、歳出1,225億円で、差引23億円の黒字となり、これを翌年度に繰越しました。

しかし、こうした財政運営を継続していくためには、私たちが健康診断を受けるのと同じで、定期的に財務状況をチェックし、現在の区の資産や負債等をきちんと把握し、その上で将来の財政負担に加え、新型コロナウイルス感染症対策や災害対策等の新たな行政需要に備えていくことが大切です。

財務諸表は、区の財務状況をチェックしたり、計画的にお金を使っていくことなどのために活用されています。



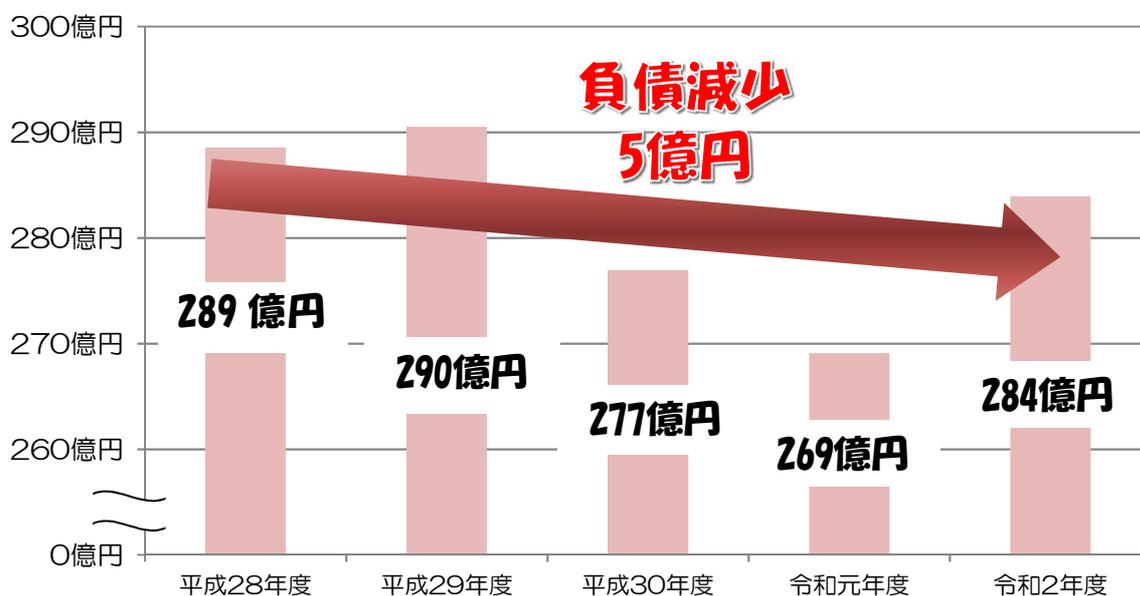
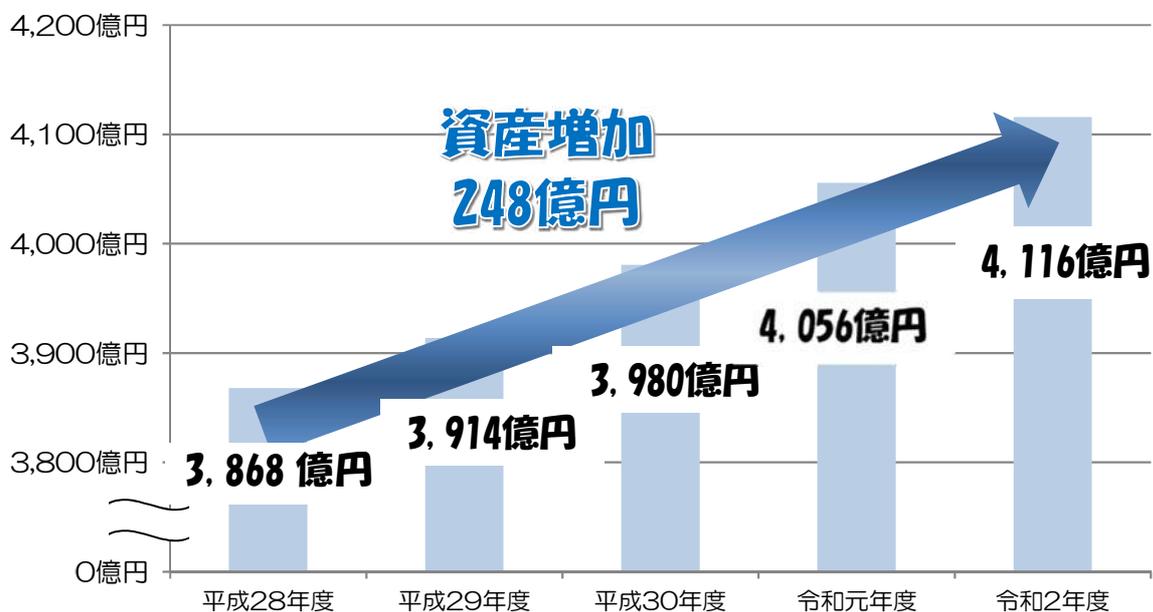
「財務諸表で財務状況を定期的にチェック」



## 区の財務状況はどのような状況ですか？

財務報告書  
8・9頁参照  
用語解説

平成28年度以降、令和2年度までに区の資産は248億円増え4,116億円（6.4%増）、負債は5億円減り284億円（1.6%減）となっています。



では、令和2年度末の資産と負債の内訳を見てみましょう。

まず、資産では、道路が1,899億円、学校やふれあい館、公園などの公共施設が1,646億円で、合計すると3,545億円となり約9割を占めています。しかし、**減価償却**により、資産の価値は年々減少していきます。



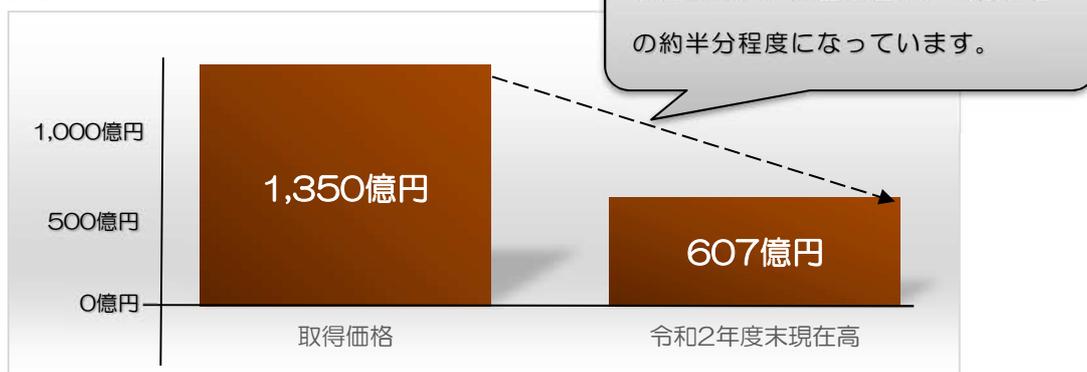
### “ワンポイント”用語解説

## 減価償却について

### ◆減価償却とは◆

建物などの固定資産は、使用や時間の経過等に伴って、老朽化や損耗などが進んで、価値が減少していきます。これを減価償却といい、1年間の建物等の価値の減少分を金額で換算し示したものが減価償却費です。

区の公共施設のうち建物と工作物の資産価値は、取得価格の1,350億円に対して607億円となっており、減価償却により約半分程度になっています。



その他の資産571億円のうち最も多いのが区の貯金にあたる

基金

で、420億円あります。

基金には、経済情勢の変動などによる収入不足等に備えるための基金、将来の建替え等に備えて小中学校といった義務教育施設を整備するための基金、その他に、公共施設等整備基金などがあります。

“ワンポイント” 用語解説

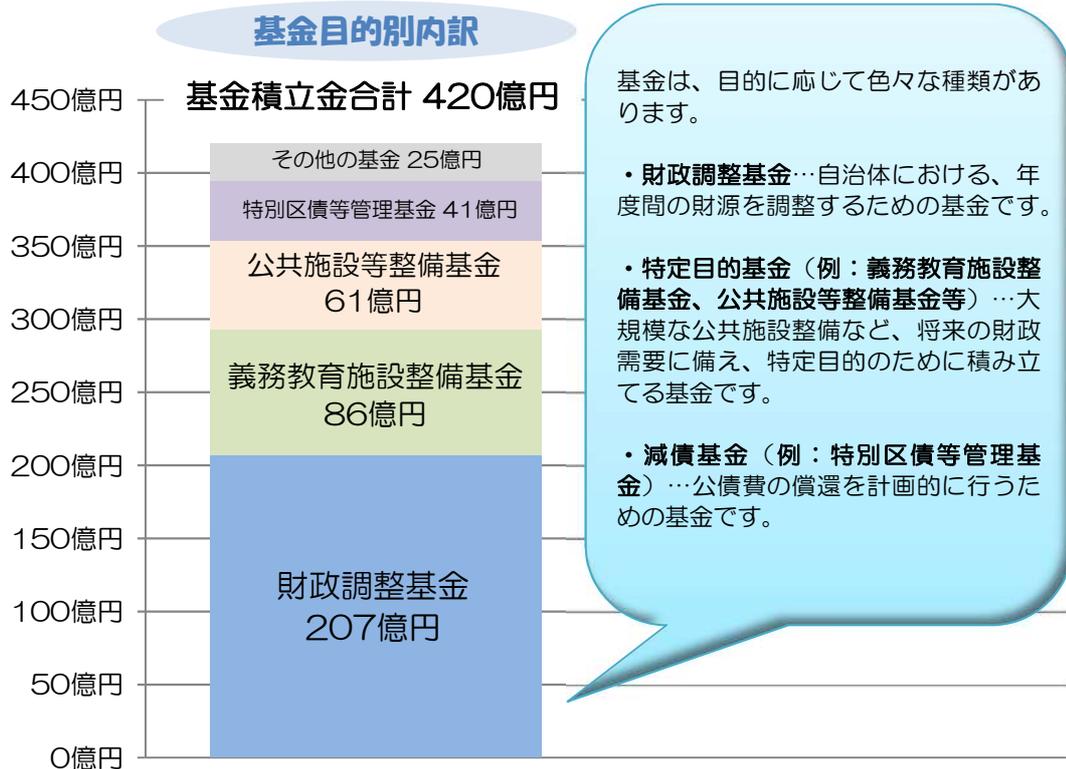
## 基金について

### ◆基金（積立金）とは◆

基金とは、特定目的のために財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために、自治体が条例の定めに基づいて任意に設置した資金又は財産です。つまり、基金積立金は区の貯金ということになります。

令和2年度末現在の基金の内訳は次のとおりです。

### ◆基金の内訳◆



次に、負債では、**借入金** が190億円で約7割を占めています。

主な借入の内訳は教育施設整備費に59億円、文化施設建設・大規模改修費に50億円、ふれあい館建設費に24億円等となっています。



その他の負債94億円は、将来の支払いに備えるための人件費関係の各種引当金のほか、建物等を借り上げることにより発生したリース債務などです。



◆荒川区立日暮里地域活性化施設◆  
(ふらっとにっぽり)



◆新たな尾久図書館◆

# 借入金について

## ◆借入金とは◆

借入金とは区が借り入れているお金で、特別区債といいます。

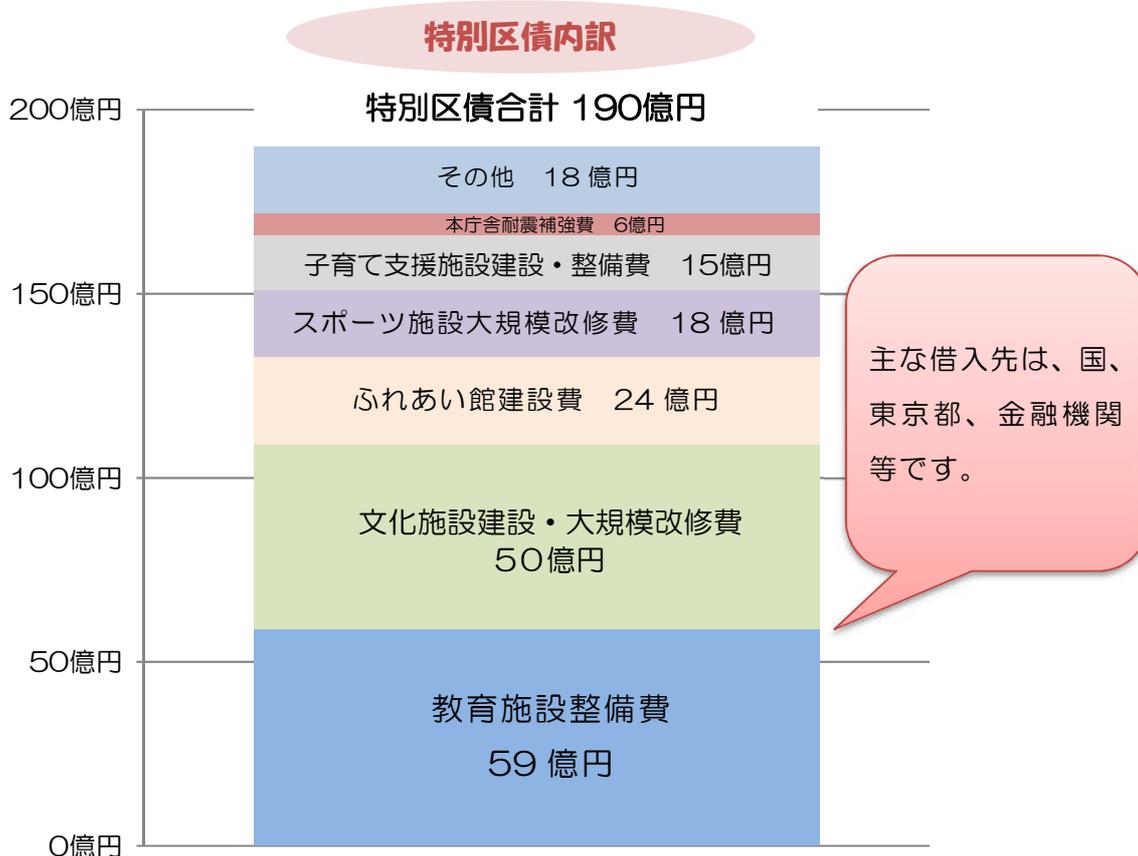
区がお金を借りる場合は、公共施設の整備（建替え、大規模修繕等）などで一時的に多額な資金が必要なお金などに限られています。

これは、公共施設が世代を超えて、多くの方々に長い間ご利用いただきますので、長期間のローンを組み返済しているからです。

特別区債の内訳は次のとおりです。

令和2年度の特別区債の合計額は190億円となっています。

## ◆特別区債の内訳◆





## 財務諸表を分析することでどんな 将来への備えができるの？

財務報告書  
8・9・21・23頁  
参照

財務諸表を分析することにより、公共施設等の老朽度を金額に置き換えて把握し、将来の施設整備に備えたり、退職手当等の支払準備を行うなど、将来、区としてどのくらい財政負担が生じるのかの『見える化』が可能になります。

そのことにより、新型コロナウイルス感染症対策や災害対策等の新たな行政需要についても、十分に備えることができます。

“見える化”



「ストック情報とコスト情報の「見える化」の実現」

また、区の施設は昭和の高度経済成長期に集中的に整備されたものが多く、同時期に老朽化を迎えるため、一時期に施設の更新（大規模改修や建替え等）に多額の費用が集中することが予測されます。

区では施設の長寿命化を計画的に進めるとともに、基金に積立てを行ない、計画的な施設整備に取り組んでいます。



**「計画的な施設整備が必要」**



## 財務諸表を見て財務状況が一目でわかるポイントってあるの？

財務報告書  
8・9・20頁  
参照

正味財産がポイントです。

正味財産は民間企業でいう自己資本にあたります。

貸借対照表においては、区が住民サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その資産をどのような財源（負債・正味財産）で賄ったかを示すものであり、正味財産は資産の部合計から負債の部合計を差し引くことにより算出されます。

一般的には、資産が増加することは、区の資産が増えたことで財務状況が良くなったように見えますが、例えば、借入金により負債がそれ以上に増えてしまったら、区の自己資本は減り、財務状況は悪化したこととなります。

そのため、財務状況を見るときは、資産や負債の増減だけではなく、区の自己資本である正味財産の状況と併せて、お金を借りすぎていないかなど財務運営上のバランスをチェックすることが大事です。

令和3年10月発行

登録番号（03）0051

令和2年度決算版 荒川区の財務諸表Q & A

編集・発行 荒川区会計管理部会計管理課  
〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3  
TEL 03-3802-3111（代表） 内線 3225